



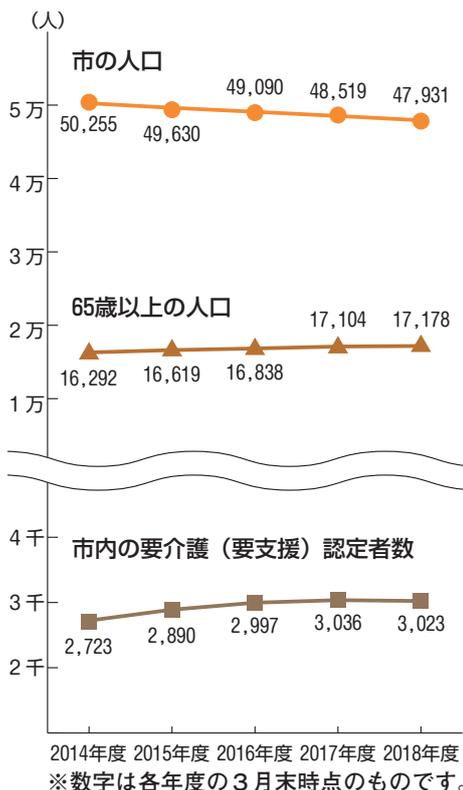
元気な未来のために

できること ～介護予防を始めませんか～

問い合わせ 高齢・介護グループ (☎05 5720)

2019年5月末現在、登別市の人口は4万7,994人。そのうち、65歳以上の方は1万7,213人であり、市民の約3人に1人が65歳以上という状況にあります。人口減少と高齢化が急速に進んでおり、今後も65歳以上の方の割合は増加する一方、若い世代や介護を担うことができる元気な家族、介護支援専門員などが減少し、介護保険制度の運営や介護サービスの維持が困難になることが予想されます。

年齢を重ねるにつれて、生活への支援が必要となる可能性は誰にでもあります。いつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けるため、元気なうちから介護予防に取り組んでみませんか。



市内の要介護(要支援)認定者数は増加傾向にあり、2018年3月末で

うちから介護予防を始めることが大切です。

40歳以上の方に納めていただく保険料や公費などによってまかなうものです。

住み慣れた地域で自分が希望する自立した生活を続けるためにも、元気なうちに介護予防を始め

「介護」に対する不安や課題を社会全体で支える仕組みとして、2000年から始まりました。この制度は、介護の必要な方(要介護(要支援)認定者)がデイサービスなどの介護サービスを利用する際にかかる負担の一部を、40歳以上の方に納めていただく保険料や公費などによってまかなうものです。

介護を必要としない期間を延ばし、いつまでも

この先、さらに高齢化が進み、介護が必要となる方が増える一方、若い世代は減少し、このままでは現行の介護保険制度の運営自体が困難になる可能性があります。

約5人に1人が認定を受けていました。

は65歳以上の方のうち、

介護保険制度の仕組み